

# おめでとう

ガーカーとみんなわ  
ズッ友やよ!号



休日も女子

花田ユリ

石原ユキオ

おせきにん編集

## guca後(5) もくじ

---

\* ドイツへ 佐藤文香

\* 妊婦誕生 太田ユリ

\* さえずり霊園～お蔵入りツイート供養～ 石原ユキオ

\* プロフとか近況とか



ドイツへ



Photo & Haiku  
佐藤文香



VIA AIR MAIL



ある朝の



冷えたミルクに  
浮く穀物と  
その粉など



これがあの

LORELEY

船のなか卓に  
枯れる前の造花



知らないかお







春の風？ 水のちかくの土を崩す

橋にいて



誓われた愛を  
見ているのだ  
が。





いっしょ

まま

あやか なつお ばあば

DAS ENDE



妊婦誕生

太田ユリ

2013年2月某日。

体調がおかしいことに気づき、薬局でいちばん安かった妊娠検査薬に尿をひっかけると陽性反応が出た。「ヒィ」と小さな声で叫んでしばらくはあたたかい便座の上に座っていたが、いい年していつまでもそんなことをしているわけにはいかないの、とりあえず恋人と話し合っ翌日さっさと病院に行くことに。

病院では結構待たされて、そのあいだに石原ユキオの俳句「陰性ですよと言われて木漏れ日の待合室」を思い出しては心のなかで「陽性だよ」と自分ツッコミを入れる、というどうでもいいことを10回くらい繰り返していた。

診察の結果は正常な妊娠。

仕事のこととかお金のこととか問題がないわけではなかったのに二時間くらい悩んだが、恋人はこちらの考えを尊重してくれると言うし、わたしのお気楽な思考回路ではどう考えても産んだ方がおもしろそうだったのでわりとあっさり産むことに決めた。

家に帰って雪舟えまさん夫妻（※1）にそのことを告げると、やはりふたりともおもしろがってくれ、お金のことにしても「この子はユリちゃんのところに来たくて来たはずだから、必要以上にお金のことで苦しませたりはしません！ 大丈夫です！」と、スピリチュアル感あふれる励ましで勇気づけてくれてとても頼もしかった。

スピリチュアルはともかく、自分のなかで別の人間が育つというのは紛うことなきSF体験だ。はじめのうちは体型的な変化もあまりないのでまったく実感がなく、通

院3回目くらいまでは「医者に騙されているのでは……」  
とかなり真剣に思っていた（なんのためだ）。

とはいえ、まわりの人々に「おめでとう」「おめでとう」  
とエヴァ最終回のような祝福をされているうちにわくわ  
くが止まらなくなってきた、単純なわたしはせっせと妊  
婦雑誌や出産準備本を買いあさるように。

そういった本が本棚を占領しはじめたとき、ふと、今ま  
で好んで読んでいた恋愛小説や漫画その他もろもろに自  
分がまったく関心を示さなくなっていることに気がつい  
た。

友だちの話を聞くときもそうで、これまでは話せば終電  
を逃す勢いだった不倫や嫉妬やすれ違いその他もろもろ  
に、以前のような熱い意見がもてなくなった。ぜんぶが  
まとめて「恋愛」というカテゴリーに放り投げられて、  
わざわざ取りに行くのが億劫なほど距離がある感じ。

今まで友だちが子どもを産むたびに「またひとりあちら  
側へ……」と思っていたものだが、まさか産むまえから「あ

ちら側」に来るとは……。医者という権威にかかれば、人っ  
てすぐ洗脳されるんだな、としみじみ思った（※2）。

変わったのは自分だけではない。まわりの人たち、とく  
に男性に妊娠のことを話すとすぐに妊婦さん扱いしてく  
れるようになったのがおもしろかった。まるで男女のほ  
かに<妊婦>という新しい性を獲得したような気持ち。  
これは恋愛市場から自動的に降りた感じがして、かなり  
清々しい。

考えてみれば一年前にはまだ guca も解散していなくて、  
わたしは四六時中恋愛のことで期待したり落ち込んだり  
憤ったりしていたというのに、妊娠は期間限定とは言え、  
こんなに何もかもが変わってしまうなんて、生きてると  
おもしろいことが本当にたくさんある。

そんなこんなで毎日たのしく過ごしているのだが、最近、



知人に「妊娠のことを聞いてからユリちゃんのバニー姿（※3）を見たら、なんか泣けてきた」と言われた。いつの時代も変化には感傷がつきものであることよ……と、遠くを見つつ、ぶじ出産が済めばまた性懲りもなく似たようなことをやっているかもしれないので、そのときはどうかほのぼのと呆れていただければいいなとも思うのであった。

後日談のように降る雨

人類がはしゃいで買った熊手のゆくえ

（太田ユリ）

※1 2012年12月より、歌人の雪舟えまさん夫妻と3人でシェアハウスで暮らすようになった。屋号は「おとぎハウス」。どういう形になるかはまだわかりませんが、恋人（入籍予定なし）とこのおとぎハウスのメンバーで助け合って育児をはじめるとの予定。今後この家でのさまざまな活動は近いうちにサイトをつくってお知らせできるようになるという噂。

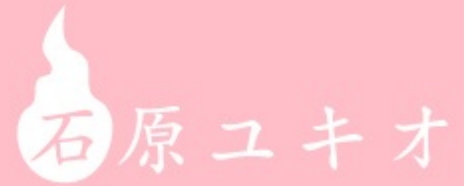
※2 こんなことばかり言ってますがとても優しくて信頼できる感じのお医者さんです。ごめんなさい。

※3 期間限定短詩系女子ユニット guca 最初にして最後の紙の本「guca4」の表紙等に掲載されたまさに誰得な太田ユリバニーガール姿。内容は guca メンバー作品のみならず穂村弘さん、平田俊子さん、神野紗希さん、松本てふこさん、野口あや子さん、山田航さん、ジュテーム★マミィこと雪舟えまさんに寄稿していただいてとっても豪華。買ってください。



# さえずり霊園

～お蔵入りツイート供養～



Twitter公式アプリの「下書き」に保存された山のような未遂ツイートのごく一部を放出し、ねんごろに供養したいと思います。（いちおう解説を入れてみました。）

そろそろ俳句の入門書には「マイクを握って吠えてる高校生」みたいなイラストが使われ始めるんじゃないか。

→俳句甲子園を念頭に置いたもの。現状としては、俳句の入門書には宗匠頭巾（そうしょうずきん）をかぶって短冊と筆を構えた松尾芭蕉スタイルのイラストが異様に多いです。

しかしですよ。BL短歌は大喜利的な側面もあるのだから、遠い明日のことばかりを気にしてもいられない。いまなんだよ、いま。

→BL短歌の技術的な向上を求める歌人のツイートに反論したかったらしい。予備校のCMの「今でしょ！」とは無関係。

佐々木あらら短歌集何冊予約が集まれば出版決定なの？

→実現しますように。

自分の書いたものを読み返すと俳句は朝ドラの脇役っぽく、短歌は昼メロの悪役っぽい。

→朝ドラの脇役では「ちりとてちん」の順ちゃんが好きでした。というか、まともに観た朝ドラ「ちりとてちん」だけだ。

見落としそうなちょっとした気まずさ。ふがいなさ。自主映画の空気感。

→永井祐さんの短歌を読んで。

すべての感情を微笑で表現する男とフルスマイルが苦笑に見える女がな...

→堺雅人さん菅野美穂さんご婚約おめでとうございます。

結婚しても脳内に遊びに来ていいんだぞ...

→「毎日美人ばかり見ると、ふと君みたいなひとに会いたくなるんだよね...」って猛毒を吐き

ながら微笑んでほしい。

沢田研二、ぽっちゃり感と老け方がストライクゾーンに入ってきた...やばい...エロい...  
昔よりエロいかも...

→デブ専で老け専のように言われるが、専門ではない。それにも魅力を感じるということ。「太陽を盗んだ男」のジュリーのヌードはお腹のあたりに中年太りの兆しが見えてたいへんエロティックである。また、この件とはあまり関係ないが、韓国映画「王の男」におけるイ・ジュンギのお腹まわりは韓流用語で言うところの「チョコレート筋肉」ではなく、ほんのすこしつまめるほどの脂肪が乗っている。これもたいへんなまめかしい。

ポスターのピンク色のちっこいハートにイラッときたので「八重の桜」はまだ一度も見ていない。

→たぶん今後も見ないと思う。

そこ夫にこだわる必要あるのか...? って思うからたぶん結婚に向いてない。

→恋愛には向いてると思うんだよ。

お食事に誘ってくださる既婚男性には「わたし」を全部「妾」と書いたメールを送りたい。

→高校の国語の授業で「妾」を「わたし」と読むと知ったときの心のざわめきといたら。

敢えて「BDSM」と呼ぶのは「パンクロック」とか「ヘヴィメタル」みたいですね。

→玄人っぽい感じと言いたかったようだ。

マッチョなイケメンっていためつけたくなるのなんでだろう、という疑問の答えは見つかりそうにありませんが、いまとてもベルセルクが読みたいです。

→「ベルセルク」は奉還町のカフェに行くたびとぎれとぎれに読んでる。ところで、マッチョなイケメンにあてはまるのは誰だろうと胸に手を当てて考えてみたところ「仁義なき戦い」の菅原文太、小林旭、松方弘樹、「ランド・オブ・ザ・デッド」や「ER」のジョン・レグイザモ、「アウトレイジ」の椎名桔平、ということになったので筋肉よりも武闘派イメージが重要なんだと思う。

相手にとって自分が空気になったら別れどき。窒息さしちゃれ。

→できない。

きみはサラダ取り分けてくれない系男子なのか...

→簡単なことをいくつかこなすだけでわたしの喜ぶ顔が見えるのになぜしないのか。同じ金額

をファミリーレストランではなくカフェで使えばわたしの喜ぶ顔が見えるのになぜしないのか。渋滞するのがわかっているのになぜわざわざ車で行きたがるのか。「ありがとう」と言ったからってなぜ喜んでいると思うのか。なぜこんな簡単なことがわからないのかわからなかった。

ちんこおもげになってください

→人類の半分くらいに対してたびたび思う。

猫が椅子の上と下でメゾネットして寝てる。

→かわいい。

青い目の猫の名前は「けたぼ」。ふわふわのもしゃもしゃの毛のかたまり。

→かわいい。

今回の件、厳粛に受け止めないとだめだ。なぜみんなあのフリを真に受けたか。正式発表後のサイトも、岡山駅前が駅ビルばかり立派なのと同様にキャンペーンだけ立派な岡山になってないか。つぎの市長選で反映しないと。

→もうみなさんお忘れでしょうがネットで話題になった岡山市の観光キャンペーンに関して。「桃太郎市」で検索しましょう。

猿と雉はもう引退していいよ。犬、僕とふたりでうどん県の骨付鳥市に行こう。そして猪熊さんの絵を見上げながら眠ろう……。

→フランダースの桃太郎。丸亀の猪熊弦一郎現代美術館は岡山から遊びに行きやすい距離で、企画展は面白く、猪熊さんの絵は楽しく、猪熊さんが蒐集したがるくた類は愛らしく、カフェの居心地がよく、わたしの現実逃避スポットのひとつです。

岡山が政令市なのはキメキメの水着から毛がはみ出してるくらいの恥ずかしさだよ。

→自虐ネタにするのもためられる痛々しさ。

ユリイカのゾンビ特集なんて赤穂線で読んどったら視線が刺さりましたよ。

→それは家で読もうよ。

わたしの脳内ピンク映画館でまた新作が封切られた。

→結構血なまぐさいからピンク映画じゃなくてVシネマなのかもしれない。

花椿のよしもとばななに泣かされたのでひとにチョコバナナのレシピを教えるなどして復讐を試みた。

→「花椿」は資生堂のお店でもらえる無料の冊子。3DCGのように完璧にメイクをキメた美容部員

さんと目が合うとつい逃げ帰ってしまう。だからいつももらいそこねる。わたしと同じようなチキンはアプリで読むという方法も。

「おんみつどうしん」美味しそう。

→あんみつっぽい。

ポンデケーキョが「もちもちしてるけどポンデリングじゃないやつ」みたいに扱われる昨今の風潮が納得いかない。

→ブラジル料理店のポンデケーキョはほんと美味しい。パン屋、ポンデケーキョに勝手にきな粉をまぶさないでほしい。

しかし、なぜあんなことをするんだろう。わざと食中毒の危険を付加してから他人に食べと強制するなんて。恨みでもあるのかな。

→ここ数年はバレンタインデーの度に人々を呪っている。

グリーンスムージー用に買ったミキサーでミックスジュースばかり作ってて罪悪感にかられて申し訳程度ににんじんを混ぜた。

→痩せない。

受話器を持たされたり急須を与えられたりすると一瞬だけ事務員に戻る。

→「そうなんですね〜」ではなく「さようございますか」と言うタイプの事務員。

何年かぶりに煙草を吸った。唾を吐いた。煙草の吸い方は覚えていたけれど、唾の吐き方は下手くそになってた。ほんとうははじめから唾なんか吐かなかったのかもしれない。煙草なんて吸わなかったのかもしれない。

→家族の中で祖父だけが喫煙者。

実際には誰であろうと写真撮られたくない。

→椎名林檎をこじらせている。

おとなの男のひとが小さな男の子みたいに見える瞬間が好きだ。にこーって笑って、恥ずかしがって、いちどもわたしを傷つけたことがないみたいな顔してるのが好きだ。刺したい。

→この電子書籍が証拠になるといけないから、わたしが逮捕されたらすみやかに削除してください。

サニーサイドアップ以外の言い方がわからないので、きっとNYでは目玉焼きばかり食べてるだろう。ニュー、ヨーク、シティ。

→本当に好きなのはスクランブルエッグ。スクランブルって発音できる自信がない。アメリカに行く予定もない。

エンドロールが流れてエンディングテーマが二曲目に移って少しずつ日常が戻ってくるみたいなの。

→あるいは客電がついて箒を持った人が入ってきててもまだ立ち上がれないというような。

「すべて送信」

→.....を、押さなかったのでこの記事になりました。



## 佐藤文香 (SATO Ayaka)

ばあちゃんのヨーガの先生の占いによると、「2013年は仕事」とのこと。俳句はもちろん凄いのを書きたい、俳句と何かのコラボ、俳句や言葉のワークショップも、引き続きやっています。お仕事募集中。

### 近況&広告

◎双葉社「JOUR」連載中「ぼくらの17-ON!」（作；アキヤマ香／協力；佐藤文香）5月に単行本化決定！

○短歌から呼ばれてます。穂村弘さん、佐藤弓生さんとトークショー。

「かばん」30周年イベント「ふしぎなかばんを携えて」

2013年5月12日（日）14:30～20:00 渋谷SHIDAX HALLにて 参加費¥3,000

（詳細；<http://www.kaban-tanka.jp/pdf/30chirashi.pdf>）

○川柳から呼ばれてます。樋口由紀子さんと対談。

「川柳カード」第2回大会

2013年9月28日（土）大阪上本町・たかつガーデンにて 詳細後日

・俳句同人誌「里」誌上にて、佐藤文香選句欄「ハイクラブ」連載中。どなたでもメールで投句可能です。→[haiclub.sato@gmail.com](mailto:haiclub.sato@gmail.com)

（詳細；[http://satoayakatoboku.blogspot.jp/p/blog-page\\_29.html](http://satoayakatoboku.blogspot.jp/p/blog-page_29.html)）

・これまでやっていた句会の「ハイクラブ」は東大サブ句会と合併し、ラブ句会として新たにスタートしました。月1で吟行句会をします♪若者、初心者大歓迎。

## 太田ユリ (OTA yuri)

未来短歌会黒瀬欄所属。2013年の半分以上を妊婦として過ごす。産後は雪舟えま夫妻とともに暮らす「おとぎハウス」でみなさまの協力のもとに育児をはじめの予定。その様子や今後の活動についてはそのうちサイトがオープンするはずなので、ツイッター@otayuri等でチェックしてください。短歌はお休み中。在宅でできるお仕事あればやらせてください！

○勤務先の阿佐ヶ谷ロフトAでたぶん最後の担当イベントがあります！ わたしは会場をうろついているだけですが、売切必至の人気イベントなのでご興味のある方はお見逃しなく！



ブックンロール Book'n'Roll 2013 ～やっぱり本屋はおもしろい～

2013年6月28日（金）OPEN 18:30 START 19:30

チャージ：前売1000円 当日1300円（いずれも当日会場でドリンク代として+500円）

（詳細； <http://www.loft-prj.co.jp/schedule/lofta/15144>）

## 石原ユキオ（ISHIHARA Yukio）

1982年、岡山県生まれ。2010年、自らの半生を赤裸々に綴った句集『俳句ホステス』でPG12ガールズ俳句賞を受賞。2011年、姿月すづ子記念財団の助成を得てアメリカへHAIKU留学。シカゴでKundalini Haikuの第一人者Buson Sai Baba師と出会い、師事親炙傾倒。瞑想を取り入れた作句法を習得する。帰国後の2012年、恐山での瞑想中に雷に打たれ最終解脱。「憑依俳句」という独自の的方法論を見出す。現在、宗教法人「憑依」を主宰し、全国各地で憑依俳句ワークショップを開催している。機関誌「ひょうい」では信者だけではなく広く一般の皆様からの憑依俳句を募集中。「guca後」をお読みくださった方にはBuson Sai Baba師の短冊の聖灰5mg（定価30万円）をわずか7万円にてお分けしております。

著書：『俳句ホステス』『人生がときめく憑依俳句』『もしドラッカーが俳句を詠んだら』『俺の俳句がこんなに上手いわけがない』他、多数。

.....という嘘プロフィールを考えられるほど暇です。

【BLOG】 [石原ユキオ商店](#)

【Twitter】 @yukioi

ほんとうの近況

- ・ アンソロジー『君住む街角』に「ロココごころ」を寄稿。（2013年3月）
- ・ [『線と情事』](#)創刊号に「かりかり日記」を寄稿。（2013年4月）
- ・ 宅配便の受け取りに出るまでのタイムを2秒短縮。自宅警備スキルが向上しました。
- ・ お呼びがかかったときだけ知人の会社に出勤し、秘書のような顔をしてコーヒーをミルで挽いたりしています。



俳句・短歌・川柳合同アンソロジー

『君住む街角』花森こま編

民草にティッシュを配る西日かな      石原ユキオ

<収録作品>

雷帝へ            五十嵐進  
駅前天使        五十嵐秀彦  
夜光時計        石原明  
ロココごころ      石原ユキオ  
常景            木戸葉三  
私雨            小島ノブヨシ  
服従の思春期      澤田滯  
一度きり        杉山あけみ  
パノプティコンの夜      武邑くしひ  
41歳の夏休み      仲青  
千鳥饅頭        檜崎進弘  
雨降れば冬瓜に      檜崎進弘  
老いらくの        渡辺隆夫  
無音霊歌        花森こま

発行：平成二十五年三月四日

出版社：[文學の森](#)

判型：四六判並製・カバー装

ISBN978-4-86438-150-5

価格：2,000円（税・送料込）

お申し込みは、メールの件名を”『君住む街角』購入希望”として

花森こまさん hanamorikoma@hotmail.com

までご連絡ください。



佐藤文香（俳句・写真）×太田ユリ（モデル）「磯遊」

太田ユリ「どこまでもあかるい午後」

石原ユキオ「憑依俳句集」

穂村弘「愛の自爆テロ」

電書ハイライト

平田俊子 詩「赤い遺言」

神野紗希 俳句「ソドム」

松本てふこ 俳句「グミ」

山田航 短歌「アルカナ愚恋抄」

野口あや子 短歌「9時に起こして」

石原ユキオ「ヒド俳レビュー」

太田ユリ「愛だの、恋だの。-special edition-」

ジュテーム★マミィ 「2012年下半期 12星座のメッセージ」

プロフィール・編集後記

\*

guca紙 (4)

期間限定短詩系女子ユニットguca (太田ユリ / 佐藤文香 / 石原ユキオ) 編

発行 : 2012年8月31日

価格 : 800円



## guca後(5)

はりねずみズツ友号

<http://p.booklog.jp/book/69481>

著者 : guca (佐藤文香 / 太田ユリ / 石原ユキオ)

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/otayuri/profile>

2013年5月5日発行

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/69481>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/69481>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ